令和6年4月5日

令和6年度水産試験場組織・主要業務・担当者

茨城県水産試験場

茨城県水産試験場 ひたちなか市平磯町三ツ塚3551-8 電話029-262-4158（代）
漁業無線局 ひたちなか市新光町51 電話029-273-7911
内水面支場 行方市玉造甲1560 電話0299-55-0324（代）

今年度の水産試験場の組織と主要業務及び担当者を紹介します（下線：新任の担当者）。

- 場長　小曽戸（オソド） 誠（マコト）
  - 研究調整監
    - ● 試験研究の評価等に関する企画・調整、場内の企画・連絡・調整　研究調整監　須能（スノウ） 紀之（ノリユキ）
  - 管理普及部（職員22名、会計年度任用職員3名）
    - 管理部門（職員4名、会計年度任用職員3名）
      - ● 人事、職員の服務、文書管理、各部の調整　次長兼部長　成井（ナルイ） 昭夫（アキオ）
      - ● 船舶の運航管理・維持管理・連絡調整　技師　工藤（クドウ） 怜子（レイコ）
    - 経営普及室（職員3名）
      - ● 水産業改良普及事業、漁業後継者・担い手育成対策、漁業経営の改善指導、水産振興施策推進の啓発
        - 南部地区担当　経営普及室長　及川（オイカワ） 貴明（タカアキ）
        - 北部地区担当　技師　西丸（サイマル） 裕敏（ヒロトシ）
        - 中部地区担当　技師　飯田（イイダ） 隼人（ハヤト）
    - いばらき丸・せんかい（職員15名）　船長　大内（オオウチ） 政幸（マサユキ）
  - 定着性資源部（職員6名、会計年度任用職員3名）
    - ● 水産資源調査・評価推進委託事業、栽培技術センターの施設管理・運営、増養殖事業の総括　部長　黒山（クロヤマ） 忠明（タダアキ）
    - ● 底魚類（ヒラメ・ヤナギムシガレイ等）の研究・資源評価、栽培漁業対象種（マコガレイ・ホシガレイ等）の放流効果調査、深海性エビ類の飼育試験　首席研究員　綿引（ワタヒキ） 悟（サトル）
    - ● 深海性エビ類養殖技術開発　主任研究員　津崎（ツザキ） 龍雄（タツオ）
    - ● 底魚類（アオメエソ・シライトマキバイ等）の研究・資源評価、磯根資源（アワビ・ウニ・イセエビ等）の研究・資源評価、マサバ養殖実証事業　主任研究員　多賀（タガ） 真（マコト）
    - ● 鹿島灘産二枚貝の研究・資源評価、鹿島灘はまぐりの放流効果調査　技師　関根（セキネ） 和輝（カズキ）
    - ● 養殖産業創出事業、深海性エビ類の生態・食性研究、魚病検査　技師　水谷（ミズタニ） 宏太（コウタ）
  - 回遊性資源部（職員4名、会計年度任用職員2名）
    - ● まき網漁業関連対策、水産資源調査・評価推進委託事業、沖合回遊性資源生態研究（マイワシ、マアジ、ウルメイワシ）、放射性物質検査・測定業務　部長　松井（マツイ） 俊幸（トシユキ）
    - ● 沿岸回遊性資源生態研究（シラス、イカナゴ、オキアミ、マダコ等）、シラス・マダコ漁況予測研究、カタクチイワシ卵稚仔等調査・研究、沿岸域の漁海況情報データ収集システム、人工魚礁調査　首席研究員　茅根（チノネ） 正洋（マサヒロ）
    - ● 沖合回遊性資源生態研究（サバ類）、サバ幼魚種判別手法開発・初期減耗過程解明研究、回遊性資源（ブリ、スルメイカ）、まき網漁場調査、音響資源調査　主任研究員　荒井（アライ） 将人（マサヒト）
    - ● 海洋環境調査、海況予測研究、沖合回遊性資源生態研究（ヤリイカ、トラフグ）、漁獲管理情報処理システムの運営・管理、沖合回遊性資源（カツオ、マグロ、サンマ）　技師　長谷川（ハセガワ） 拓哉（タクヤ）
  - 水産物利用加工部（職員4名）
    - ● 県産シラス競争力強化対策（鮮度及び成分分析、品質管理）、干物類の消費期限延長　部長　小松（コマツ） 健一（ケンイチ）
    - ● 新たな流通・消費拡大研究（味付凍結品開発）、産地市場等の衛生管理支援、水産加工業者・漁業者等の技術相談対応、水産加工実験棟の維持管理　主任研究員　渡邊（ワタナベ） 直樹（ナオキ）
    - ● 新たな流通・消費拡大研究（生食用凍結品開発）、霞ヶ浦産シラウオ生食用凍結品の技術普及、研究設備の保守維持管理・機器更新、水産利用関係研究開発推進会議の連絡調整　主任　鈴木（スズキ） 美紀（ミキ）
    - ● 県産シラス競争力強化対策（鮮度管理技術改善）、魚介類の鮮度・脂肪分等分析業務、赤潮発生時のモニタリング、水産業界への加工技術支援・普及　主任　高濱（タカハマ） 優太（ユウタ）
- （漁業無線局）局長
  - 通信課（職員4名、会計年度任用職員2名、茨城県無線漁業協同組合4名）　（漁業無線局長事務取扱　小曽戸 誠）
    - ● 遠洋・沖合・沿岸漁業等に従事する船舶との通信事務、漁海況速報事務
      - 通信課長　黒澤（クロサワ） 紀弘（ノリヒロ）
      - 副主査　髙堀（タカボリ） 昌之（マサユキ）
      - 係長　清水（シミズ） 秀彦（ヒデヒコ）
      - 係長　有ノ木（アリノキ） 哲也（テツヤ）
- （内水面支場）技佐兼支場長　根本（ネモト） 孝（タカシ）
  - 増養殖部（職員3名、会計年度任用職員4名）
    - ● 部の研究調整、魚病対策・防疫指導、養殖技術開発の統括　部長　丹羽（ニワ） 晋太郎（シンタロウ）
    - ● 産卵場造成等内水面魚介類の増殖、新魚種養殖技術開発、魚病指導総合センターの運営、飼育施設の運用管理　育休補助職員　岡部（オカベ） 勤（ツトム）
    - ● チョウザメ類の飼育・養殖技術開発、ワカサギの増殖、アユ親魚育成・採卵事業、魚類斃死原因調査　技師　髙野（タカノ） 萌慧（モエ）
  - 内水面資源部（職員4名、会計年度任用職員1名）
    - ● 内水面支場の研究調整、内水面支場施設の運用管理（飼育施設除く）、資源研究の総括　部長　小日向（コビナタ） 寿夫（ヒサオ）
    - ● ワカサギ・シラウオの資源動態研究、霞ヶ浦北浦の魚類調査（外来魚除く）、霞ヶ浦北浦の不漁要因研究、漁場環境調査（プランクトン）　首席研究員　山崎（ヤマザキ） 幸夫（ユキオ）
    - ● ヤマトシジミの資源動態研究、天然アユの資源動態研究、調査船の運航管理　主任　鈴木（スズキ） 裕也（ユウヤ）
    - ● テナガエビの資源動態研究、外来魚の動態研究・対策、漁場環境調査（水質、ベントス、イサザアミ）、シラスウナギ資源動態研究　技師　飯野（イイノ） 菜帆（ナホ）